

(様式3) 【学校用】

## ふるさと教育 取組事例

学校名	邑南町立羽須美中学校		
学 年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
全学年	総合的な学習	おおなん学 ～羽須美地域の魅力と課題の発見～	地元事業者・団体（農業、酒造、NPO等）、特産品（日本酒・ゆず胡椒）、棚田、花桃
ねらい		地域の魅力と課題を学び、郷土を愛し自ら考え行動する力を育む。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>全校生徒が縦割り班を構成し、羽須美地域の6つのテーマ（農業、INAKAイルミ、ゆず胡椒、日本酒、花桃、棚田）に分かれて探究活動を実施した。地域産業研修や現地フィールドワークを通じて、専門家や事業者から直接話を聞き、地域の魅力と課題を多角的に学んだ。学習の成果は、ICTツール（Teams）を用いた共同編集で模造紙形式にまとめ、学校公開日に保護者や地域の方へ向けて準備を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>農業見学の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>酒造見学の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>宇都井駅見学の様子</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p style="text-align: center;">まとめの一例</p> </div> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b>          (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)          地域の第一線で活躍する講師の方々的情熱や願いに触れることで、生徒が自分たちの住む地域の価値を再発見し、未来の町づくりを自分事として捉えるきっかけとする意図がある。          (学力育成の視点から)          事前学習でICTを用い自ら調べ疑問を持ち、フィールドワークでの対話を通じて情報を収集し、それらを論理的に構成・発信するという一連のプロセスにより、課題発見・解決能力およびコミュニケーション能力を育成する。</p> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b>          (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)          講師の方への直接的な質問や対話を通じ、地域の産業や文化を守ろうとする人々の思いに共感する姿が見られた。まとめを通じて、地域の魅力と課題に気づくとともに「自分たちにできることは何か」を真剣に模索する様子が見られた。          (学力育成の視点から)          タブレットを用いて、集めた情報から大切な部分を選んで、整理する力が身についた。また、班内での役割分担や共同編集の作業を通じ、互いに声をかけ合いながら一つの形にまとめ上げる協力的な姿勢も高まった。</p> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>本年度の学びをもとに、今後は地域課題に対する具体的な解決策や提案を構築していく必要がある。その過程で、地域の方々と継続的に意見交流を行い、課題解決に向けた論理的な考え方やプロセスを深く学んでいきたい。さらに、生徒の提案を単なる発表に留めず、地域と協働した具体的な実践活動へと繋げていくことを目指す。</p>			

※取組の様子がわかるような画像を数枚貼り付け、ファイルのデータサイズが500kb以下となるようにしてください。  
 ※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。